

大牟田市介護支援専門員連絡協議会

平成31年度定期総会

# 議 案 書

## 議 案

議案第1号	平成30年度事業実績報告……………	1
議案第2号	平成30年度決算報告及び基金運用状況報告ならびに監査報告……………	10
議案第3号	平成31年度事業計画（案）……………	14
議案第4号	平成31年度予算（案）……………	16
参考資料－1	大牟田市介護支援専門員連絡協議会規約……………	18
参考資料－2	大牟田市介護支援専門員連絡協議会組織図……………	22

平成30年度事業実績報告

1. 総括

平成30年度は、介護保険制度改正及び大牟田市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画により、地域包括ケアシステムの深化・推進と地域共生社会の実現に向けた取り組みに重点が置かれた。その中で、大牟田市地域医療・介護連携ビジョンに基づき、各専門職能団体や地域関係団体等との連携を推進した。

また、ケアマネジメントの質の向上と公正・中立性の確保の観点から、主任介護支援専門員が居宅介護支援事業所の管理者として位置付けられるとともに、ケアマネジメントにおいては、根拠ある実践と説明責任が求められた。

更に、当協議会の20周年記念事業に向けて、会員の皆様と20年の歩みを振り返り、あらためて介護支援専門員の役割を考える一年であった。

そのような中、当協議会としては、対人援助職としての高い専門性と倫理観を身につけることを目指した継続的な研修会を行うとともに、地域ケア会議への積極的な関わり、主治医をはじめとした医療との連携強化、多職種との連携構築に向けた活動を基本方針として取り組んだ。

研修事業については、対人援助職としての成長には不可欠である“常に基本に戻ること、実践の振り返りと検証を継続すること”を軸とし、基礎研修・共通研修では対人援助の枠組みや必要な知識・援助技術を学ぶ研修会を開催した。熟達研修では、初級編・中級編のグループを編成し、毎月1回グループスーパービジョンを実施し、対人援助職としての熟成を目指して取り組んだ。また、施設ケアマネジメント研究活動支援については、実践事例をもとに学びを深めることと、今後の継続した取り組みに繋がる為の基盤づくりに取り組んだ。

利用者支援における多職種連携の基盤づくりについては、主治医と介護支援専門員をはじめとした多職種交流事業として研修会と交流会を開催した。また、医療・介護連携推進事業では、セラピストと意見交換を行い、医療連携支援体制の構築を目指した。

介護支援専門員同士のつながりづくりとしては、平成30年度より大牟田市からの委託事業は廃止となったが、ケアマネジメントサポート事業を継続し、包括圏域ごとに“気軽に集える場づくり”や“勉強会の企画”を行い、介護支援専門員全体の質の向上と連携体制の構築につとめてきた。

情報の共有・発信については、“リニューアルホームページ”“フェイスブック”を活用するとともに、機関誌“きらめき”を定期及び号外として適宜発行することで、協議会の取り組みや研修会等の報告、実践事例の紹介及び社会資源の情報発信に努めた。

平成30年度も充実した活動であり、事業所会員41件、個人会員252名となっている。平成31年度には、当協議会設立20周年を迎えることになり、真の対人援助職として目指すべき

目標を改めて振り返りたい。同時に会員の皆様の意見を反映し組織の在り方を見直し、次の 10 年に繋がる礎の 1 年としたい。

おわりに、当協議会の活動を支援していただいた大牟田市関係課や大牟田市介護サービス事業者協議会など諸関係団体、及び会員の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き今後の活動についてご支援、ご協力をお願いし、平成30年度のまとめとしたい。

## 2. 事業部会事業実績

### (1) 事務局

#### ①役員会の開催

##### ◆第1回（4月22日）

議題：1. 定期総会について

##### ◆第2回（6月22日）

議題：1. 各部会委員の確認について  
2. 各部会の事業計画兼進捗状況について  
3. 大牟田市市営住宅審議会委員の推薦について  
4. 20周年記念事業の実行委員会について  
5. 在宅医療・介護連携推進協議会及びビジョン検討ワーキングへの委員派遣について

##### ◆第3回（10月1日）

議題：1. 各部会の進捗状況について  
2. 20周年記念事業実行委員会について

##### ◆第4回（10月24日）

議題：1. 20周年記念事業の実行委員会について

##### ◆第5回（2月14日）

議題：1. 総会までのスケジュールについて  
2. 各部会の進捗状況について

##### ◆第6回（3月6日）

議題：1. 平成30年度事業報告・決算報告及び平成31年度事業計画案・予算案について  
2. 講師謝金内規について  
3. 20周年記念事業予算（案）及び全体スケジュールについて

##### ◆第7回（3月19日）

議題：1. 平成30年度事業報告・決算報告及び平成31年度事業計画案・予算案について

##### ◆20周年記念事業 実行委員会

第1回（8月7日） 第2回（11月12日） 第3回（1月25日）

※各担当による会議は、随時開催

テーマ：「未来のケアマネの姿 大牟田らしさとは」～20年の歩みとこれから～

日 時：平成32年1月25日 予定

## ②平成30年度定期総会の開催

日時：4月26日（木）18：30～19：30

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

- 議案：1. 平成29年度事業実績報告  
2. 平成29年度決算報告及び基金運用状況報告ならびに監査報告  
3. 平成30年度事業計画（案）  
4. 平成30年度予算（案）  
5. 大牟田市介護支援専門員連絡協議会規約改正について  
6. 役員改選について（案）

## ③介護関係イベントへ参加及び行政・介護サービス事業者協議会・大牟田医師会との連携

- ◆大牟田市いきいき長寿まちづくり協議会 安藤会長が委員として参加
- ◆大牟田市地域包括支援センター運営協議会 松下情報交流事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田市障害者自立支援・差別解消支援協議会 井形事務局次長が委員として参加
- ◆認知症地域医療連携協議会 松下情報交流事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田市居住支援協議会 安藤会長が監事として参加  
同協議会 手塚事務局部会委員が委員として参加
- ◆大牟田市市営住宅審議委員会 今岡広報事業部会長が委員として参加
- ◆大牟田地域健康推進協議会へ加盟
- ◆大牟田みんなの健康展 2018 へ参加『介護なんでも相談室』としてコーナーを担当
- ◆大牟田市 地域ケア会議への主任介護支援専門員推薦
- ◆大牟田市在宅医療・介護連携推進協議会 安藤会長が委員として参加  
大牟田市地域医療・介護連携ビジョン検討ワーキンググループ  
橋口事務局長が委員として参加
- ◆在宅医療・介護連携推進事業 橋口事務局長が委員として参加

## ④他市町村協議会等との連携と情報収集

日程：10月15日

会場：玉名市民会館 第一会議室

内容：「対人援助の基本とクライアントの統合的理解」

講師：渡部 律子氏（日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授）

林副会長、橋口事務局長が参加

主催：スーパービジョン実践塾くまもと

⑤ケアマネ支援事業（ケアマネジメントサポート事業）

◆全体会議

日程：7月13日

会場：大牟田市企業局 講習室

参加者：35名

◆サポート事業連携担当会議

①日程：11月14日 ②日程：3月22日

包括圏域毎に独自の取り組みを実施

⑥施設ケアマネジメント研究活動への支援

◆施設ケアマネジメントに関する研修会の開催

日程：2月22日

会場：大牟田文化会館 研修室

内容：「事例検討会」

講師：黒田 直氏（介護老人保健施設 聖ルカ苑 副施設長）

参加者：48名

⑦地域包括ケアシステムの推進、地域共生社会の実現に向けて「介護支援専門員」の役割を  
模索する取り組みについて

日程：10月12日

会場：大牟田市総合福祉センター 大会議室

内容：「地域共生の取り組みからみえてきたもの」

「地域共生社会への取り組み」

講師：梅崎 優貴氏（小規模多機能ホーム いまやまの家）

森 健一郎氏（リハビリ特化型デイサービス ライズ）

参加者：43名

⑧ホームページ・フェイスブック運用実行委員会（各部会委員より構成）

ホームページ・フェイスブックの運用方法と周知率向上の為の協議を行った。

### ◎部会活動～会議の開催

第1回	5月23日	平成30年度事業計画・役割分担について
第2回	6月15日	平成30年度事業計画について みんなの健康展について
第3回	8月27日	みんなの健康展について 介護支援専門員の役割を探る研修会について
第4回	1月30日	施設ケアマネジメント研究活動支援について
第5回	3月14日	次年度の事業計画について 平成31年度定期総会について

### (2) 研修事業部会

#### ①共通研修（フォローアップ全体研修）の開催

##### ◆第1回（3月16日）

内容：「スーパービジョン研修」

講師：片岡 靖子氏（久留米大学文学部社会福祉学科 准教授）

会場：大牟田文化会館 研修室

参加者数：36名

#### ②熟達研修（スーパービジョン研修）の開催

平成29年度より2年間の課程で月1回スーパービジョン研修を実施。

参加者数：27名（中級編）・21名（初級編）

#### ③基礎研修の開催

##### ◆第1回（7月13日）

内容：「相談援助面接の基本と心構え」

講師：今岡 慶教氏（居宅介護支援事業所はなその）

鈴木 昭彦氏（居宅介護支援事業所たさき）

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：54名

##### ◆第2回（7月21日）

内容：「ケアプランチェックの視点」

講師：片原 美絵氏（ハートフィールド筑紫丘）

会場：社会保険大牟田天領病院 福祉センター

参加者数：39名

##### ◆第3回（9月26日）

内容：「知りたい 訪問歯科診療」

講師：山本 博崇氏（山本歯科クリニック 院長）

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

参加者数：46名

◆第4回（10月29日）

内容：「解決構築の面接技法について」

講師：大垣 京子氏（日本医療ソーシャルワーカー学会 会長）

会場：大牟田文化会館 研修室

参加者数：67名

◆第5回（11月26日）

内容：「高齢者の精神疾患」

講師：富松 健太郎氏（三池病院 副理事長兼副院長）

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

参加者数：46名

◆第6回（1月11日）

内容：「ストレスについて考えよう」

講師：高口 恵美氏（西南女学院大学保健福祉学部福祉学科 講師）

会場：大牟田文化会館 研修室

参加者数：43名

④部会活動～会議の開催（4回）

第1回	5月14日	平成30年度事業計画について
第2回	8月24日	事業の役割分担について
第3回	1月11日	フォローアップ研修について
第4回	3月5日	平成31年度事業計画案について

（3）広報事業部会

①会報「きらめき」の発行（年3回）

◆VOL. 66号（平成30年7月発行）

- ・平成30年度定期総会報告
- ・会長挨拶、副会長挨拶、部会員紹介
- ・シリーズ実践事例「障害者総合支援法から介護保険法への切替で、利用者を自立支援に導いた事例」
- ・リレー随想 小規模多機能ホームひだまり 田上 愛氏

- ・保険者（大牟田市健康長寿支援課）からのお知らせ

◆VOL. 67号（平成30年11月発行）

- ・「大牟田市介護支援専門員連絡協議会20周年記念事業 実行委員会開催！」
- ・基礎研修③「知りたい！訪問歯科診療」
- ・大牟田市内の緩和型デイサービスの紹介
- ・シリーズ実践事例「本人やご家族の思いを正しく理解できていたのか悩んだ事例」
- ・リレー随想 白川病院ケアプランサービス 野田 元子氏
- ・保険者（大牟田市健康長寿支援課）からのお知らせ

◆VOL. 68号（平成31年3月発行）

- ・H30年度主治医と介護支援専門員～講演会・交流会～
- ・基礎研修⑥「ストレスについて考えよう」
- ・施設ケアマネジメント研究研修会の開催
- ・シリーズ実践事例「本人の思いにそった支援に悩んだ事例」
- ・リレー随想 ケアプランセンター光 大野 京子氏
- ・保険者（大牟田市健康長寿支援課）からのお知らせ

◆きらめき号外発行（ホームページ掲載）

- ・きらめき号外1号発行 平成31年1月  
「第10回多職種連携の為に意見交換会【セラピストと介護支援専門員との意見交換会】」
- ・きらめき号外2号発行 平成31年1月  
「基礎研修⑤ 高齢者の精神疾患」

②広報事業部会活動、会議の開催（3回）

第1回	5月23日	きらめき66号編集会議
第2回	9月11日	きらめき67号編集会議
第3回	12月12日	きらめき68号編集会議

\*きらめき各号の発送作業3回・企画打ち合わせ

（4）情報交流事業部会

①医療・介護の多職種、地域団体との連携推進のための交流事業

前年度開催したリハビリテーションの各セラピストとの意見交換会での意見から、今後も継続



して交流を持ちたいとの要望が出されていたこともあり、今年度についてもより一層連携を深めていくことを目的に第2回のリハビリテーションセラピスト（OT・PT・ST）との意見交換会を開催した。

今回は、2018年度医療・介護の同時改正のポイントをミニ学習した後に、連携の現状や今後のより一層の連携のための意見交換を行った。

日程：11月21日 18：30～20：30

会場：イオンモール大牟田 イオンホール

内容：第1部 2018年度医療・介護報酬改正の内容について（リハビリを中心に）

① 医療報酬改正 堀川 聡司氏（白川病院）

② 介護報酬改正 工藤 信恵氏（吉野地区地域包括支援センター）

第2部 意見交換会

テーマ「報酬改定や連携について」

参加者 86名

PT 24名 OT 12名 ST 2名 介護支援専門員及びMSW 48名

## ②主治医と介護支援専門員をはじめとした多職種交流事業の開催

今回の取り組みも医師・介護支援専門員に参加をしぼり、在宅支援診療所を開業されている講師を招き、地域において利用者を最後まで支援していくために多職種との連携、チーム作りについて学んだ。

2部では、連携がより一層前進し課題が共有できることを目的に交流会を開催した。

日程：2月13日 19：00～21：30

会場：ニューガイア オームタガーデンホテル 鳳凰の間

内容：第1部 講演会

「在宅医療と多職種連携の実際」

講師：満岡内科クリニック

院長 満岡 聡氏

第2部 交流会

参加者：1部 84名

医師 23名 介護支援専門員 57名 行政 4名

2部 44名

医師 16名 介護支援専門員 26名 行政 2名

③部会活動～会議の開催（10回）

第1回	6月4日	年間事業計画 担当部員決定
第2回	7月17日	年間事業計画と内容の提案
第3回	8月20日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会の内容について検討 主治医と介護支援専門員の交流会の講師提案
第4回	9月11日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会のすすめかたについて
第5回	10月10日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会の呼びかけや内容について
第6回	11月14日	医療・介護、多職種、地域団体との連携のための交流事業の当日運営について
第7回	12月18日	医療・介護、多職種、地域団体との連携推進のための交流会まとめ及び医師と介護支援専門員、多職種交流会について
第8回	1月10日	医師と介護支援専門員をはじめとした多職種交流会について及びアンケートのまとめ
第9回	2月5日	医師と介護支援専門員をはじめとした多職種交流会の当日運営について
第10回	3月5日	医師と介護支援専門員をはじめとした多職種交流会のアンケートまとめ 2018年度のまとめ

## 収入の部

(単位：円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B) - (A)	摘 要
1 会員会費	1,347,000	1,371,000	24,000	事業所会員:41事業所 個人会員:252名
2 負担金	60,000	61,000	1,000	
参加負担金	50,000	51,000	1,000	基礎研修参加費 SV研修参加費
共催負担金	10,000	10,000	0	施設ケアマネジメント研修における大牟田市介護サービス事業者協議会からの共催負担金
3 雑収入	1,000	10	-990	預金利子等
4 繰越金	265,000	265,862	862	平成29年度決算繰越金265,862円
5 介護ネットシステム積立金繰入金	0	0	0	
収入合計	1,673,000	1,697,872	24,872	

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	予算流用額	最終予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B) - (A)	摘 要
1 事業費	1,308,000	32,382	1,340,382	1,126,442	213,940	
1 事務局運営管理費	532,000	2,946	534,946	534,588	358	
(1) 総務費	164,000	2,946	166,946	166,946	0	総会関係費(会場借上料、印刷製本費等) PC代(2割分)
(2) 事務局業務委託費	360,000	0	360,000	360,000	0	大牟田市介護サービス事業者協議会への事務委託費
(3) ホームページ構築費	0	0	0	0	0	
(4) 介護ネットシステム 運営費	8,000	0	8,000	7,642	358	ドメイン使用料 さくらレンタルサーバー利用料
2 研修事業費	566,000	29,436	595,436	432,608	162,828	
(1) フォローアップ全体 研修費	100,000	0	100,000	53,172	46,828	講師謝金
(2) 基礎研修費	78,000	29,436	107,436	107,436	0	講師謝金、会場借上料等
(3) スーパービジョン実践 研修費	288,000	0	288,000	272,000	16,000	講師謝金
(4) スーパーバイザー活動 支援及び養成研修費	100,000	0	100,000	0	100,000	
3 広報事業費	144,000	0	144,000	128,849	15,151	
(1) 会報発行費	144,000	0	144,000	128,849	15,151	印刷製本費(年3回:66号・67号・68号)、郵送料
4 情報交流事業費	66,000	0	66,000	30,397	35,603	
(1) 会員交流事業費	10,000	0	10,000	0	10,000	全体交流会関係費
(2) 医療との連携事業費	56,000	0	56,000	30,397	25,603	講師謝金等 訪問看護ステーション従事者研修共催金
2 介護ネットシステム積立金	50,000	0	50,000	50,000	0	【介護ネットシステム積立基金】 平成30年度末残高 250,093円
3 事務局運営基金積立金	100,000	0	100,000	100,000	0	【事務局運営基金】 平成30年度末残高 3,418,154円
4 20周年記念積立金	50,000	0	50,000	0	-50,000	
5 予備費	165,000	-32,382	132,618	0	132,618	役員会の承認により、必要経費へ流用できるものとする。
支出合計	1,673,000	0	1,673,000	1,276,442	-396,558	

収入	支出	次年度繰越
1,697,872	1,276,442	421,430

基金の運用状況

(1) 介護ネットシステム積立金

(単位:円)

区分	平成29年度末 残高	平成30年度中 増減	平成30年度末 現在高	摘要
定期 預金	200,075	50,018	250,093	福岡銀行(スーパー定期)

(2) 事務局運営基金積立金

(単位:円)

区分	平成29年度末 残高	平成30年度中 増減	平成30年度末 現在高	摘要
定期 預金	3,317,758	100,396	3,418,154	福岡銀行(スーパー定期)


## 平成 30 年度会計監査報告書

大牟田市介護支援専門員連絡協議会の平成 30 年度の収支状況について、規約第 18 条の規定により会計監査を実施したところ、現金出納簿及び預金通帳の収支金額と領収書・関係書類等を照合した結果、適切に処理されていることを報告いたします。

平成 31 年 4 月 5 日

監 事 橋本 強 

---

監 事 大森 広美 

---

## 議案第3号

### 平成31年度事業計画（案）

#### 1.活動の基本方針

平成31年度は、当協議会設立20周年を迎える。設立記念事業のテーマを「未来のケアマネの姿 大牟田らしさとは ～20年の歩みとこれから～」とし、これから迎える社会情勢の中で、真の対人援助職のあり方を会員の皆様と共に再確認していく。また、大牟田市地域医療・介護連携ビジョンについては、引き続き各専門職団体や地域関係団体等と連携し活動を推進していく。

そのような中、介護支援専門員は、介護保険制度の理念である自立支援に向けたケアマネジメントの実践者として利用者の生活支援、医療連携の要を担っていくことが求められている。また、認知症や様々な要因により、自身の想いを表現できない方々の代弁者としての役割を果たしていくことも重要である。そこで、当協議会においては、対人援助職としての高い専門性と倫理観を身につけることを目指した継続的研修を行うとともに、地域ケア会議への積極的な関わり、主治医をはじめとした医療との連携強化、多職種や地域団体等との連携構築に向けた活動の充実を図る。

#### 2.事業部会活動計画

##### (1) 事務局

##### ①役員会の開催

##### ②定期総会の開催

##### ③介護関連イベント、講演会等への参加協力、共催、後援等

介護関連イベント、講演会等への積極的に参加し、行政、大牟田市介護サービス事業者協議会等と共催実施することにより、当協議会の活動を市民や関係者へ広くPRする。

##### ④他市町村等協議会との連携

大牟田市外の介護支援専門員関係団体等との交流（研修会等への参加を通じ、活動等に関する意見交換や他団体等の活動内容などから、当協議会活動充実のための情報収集を行う）

##### ⑤ケアマネジメントサポート事業

連携体制構築の取り組みとして、地域包括支援センター圏域毎に特色ある活動として充実しており、今後も継続していく。また、新たに主任介護支援専門員となった方も含め、活動人数を増やしていけるよう取り組む。

##### ⑥施設ケアマネジメント研究活動への支援

施設ケアマネジメントに関わる実践者と意見交換を行い、「支援者同士のネットワーク構築」「継続的な研修」の仕組みづくりを推進する。

##### ⑦地域包括ケアシステムの推進、地域共生社会の実現に向けて「介護支援専門員」の役割を模索する。

地域包括ケアシステム・地域共生社会の中で、介護支援専門員としての役割や協働のあり方を具体的に考える機会を作る。

⑧会員への情報発信について

ホームページやフェイスブックを活用し、当協議会の情報やきらめき等、会員や外部への周知・発信を行う。各事業部会協働での実行委員会にて運営・管理・運用方法について検討する。

⑨「大牟田市介護支援専門員連絡協議会 設立20周年記念事業」について

平成31年度に開催する20周年記念事業を実行委員会形式にて取り組み、次の10年に繋がる記念事業とする。

(2) 研修事業部会

①共通研修(フォローアップ全体研修)の開催

大牟田市介護サービス事業者協議会と連携し、対人援助職としての専門性を高めるための研修会を開催する。

②基礎研修の開催

対人援助専門職としての基礎知識の習熟を図るための研修会を開催する。

③熟達研修(スーパービジョン研修)の開催

平成29年度からの2年間の課程で、初級編1チーム(20名)と中級編2チーム(25名)が修了したため、今年度より新しい形態で継続を行う。

④その他

スーパーバイザー活動支援及び養成研修を継続的に実施する。

(3) 広報事業部会

①会報の発行(年3回)

当会の活動内容などを掲載した会報を発行し、活動の報告・介護サービスに関する情報の共有、提供を行っていく。

②会員への情報発信

ホームページを活用し、協議会の情報やきらめき号外等、介護支援専門員に必要な情報をより早く発信していく。

(4) 情報交流事業部会

①多職種連携の推進・強化

医療や介護、地域で活動している支援者との連携推進強化を目指した、多職種協働の展開が図れるための意見交換会や研修会を実施する。

- ・主治医と介護支援専門員及び多職種との交流事業の開催
- ・医療・介護の多職種、地域団体との連携推進のための交流事業



## 議案第4号

## 平成31年度 大牟田市介護支援専門員連絡協議会一般会計予算(案)

## 収入の部

(単位:千円)

科 目	平成30年度 予算額	平成31年度 予算額	増 減	摘 要
1 会員会費	1,347	1,341	-6	事業所会員:41事業所 個人会員:242名(▲10名)
2 負担金	60	110	50	
参加負担金	50	100	50	基礎研修・フォローアップ全体研修等
共催負担金	10	10	0	施設ケアマネジメント研究研修に対する大牟田市介護サービス事業者協議会からの共催負担金
3 雑収入	1	1	0	預金利子等
4 繰越金	265	421	156	平成30年度決算繰越金予定421,430円
5 介護ネットシステム積立金繰入金	0	0	0	
収入合計	1,673	1,873	200	

## 支出の部

(単位:千円)

科 目	平成30年度 予 算 額	平成31年度 予 算 額	増 減	摘 要
1 事業費	1,308	1,246	-62	
1 事務局運営管理費	532	518	-14	
(1)総務費	164	150	-14	総会関係費(会場借上料、印刷製本費等)、交流費等
(2)事務局業務委託費	360	360	0	大牟田市介護サービス事業者協議会への事務委託費
(3)介護ネットシステム運営費	8	8	0	ドメイン使用料、レンタルサーバー使用料
2 研修事業費	566	528	-38	
(1)フォローアップ全体研修費	100	100	0	講師謝金、会場借上料等
(2)基礎研修費	78	78	0	講師謝金、会場借上料等
(3)スーパービジョン実践研修費	288	250	-38	講師謝金
(4)スーパーバイザー活動支援 及び養成研修費	100	100	0	研修関係費等
3 広報事業費	144	144	0	
(1)会報発行費	144	144	0	印刷製本費
4 情報交流事業費	66	56	-10	
(1)会員交流事業費	10	0	-10	全体交流会関係等
(2)医療との連携及び多職種 連携事業費	56	56	0	講師謝金、会場借上料等
2 介護ネットシステム積立金	50	50	0	【介護ネットシステム積立基金】 平成30年度末残高 250,093円
3 事務局運営基金積立金	100	100	0	【事務局運営基金】 平成30年度末残高3,418,154円
4 20周年記念積立金	50	150	100	
5 予備費	165	327	162	役員会の承認により、必要経費へ流用ができるものとする。
支出合計	1,673	1,873	200	

## 大牟田市介護支援専門員連絡協議会規約

### 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、大牟田市介護支援専門員連絡協議会という。

(目的)

第2条 本会は、介護支援専門員の資質の向上と介護支援専門員間及び他職種とのネットワーク化を図ることにより、自立支援を基本とした介護支援業務の円滑な推進に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 介護支援専門員の倫理や専門的知識及び技術の向上に関する事。
- (2) 介護支援専門員間や他職種とのネットワークの構築に関する事。
- (3) 介護支援専門員の業務を遂行するうえで必要となる情報の収集と提供に関する事。
- (4) 介護保険制度の円滑な運営のための社会資源の開発、改善及び量的な確保に関する事。
- (5) 上記に掲げるほか目的を達成するために必要な事。

### 第2章 会員

(会員)

第4条 本会は、第2条に掲げる目的に賛同する介護支援専門員又は介護支援専門員実務研修受講試験合格者であって、実務研修を終了見込みの者(以下「個人会員」という)及び介護支援専門員の属する指定居宅介護支援事業者(以下「事業所会員」という)をもって構成する。

2 本会は、前項に掲げるもの(以下「正会員」という)のほか、その目的に賛同する者を準会員とする。

(入会)

第5条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書に1年分の会費を添えて会長に提出し、承認を得なければならない。

(会費)

第6条 会員(以下準会員を含む。)は、会費を納入しなければならない。

- 2 会費の額は、1年あたり個人会員3,000円、事業所会員15,000円とする。
- 3 会費の納入の方法は、別に定める。
- 4 会費納入期限を経過しても、会長に書面にて、退会の旨を申し出なかった場合は、1年あたりの会費を納入しなければならない。

(退会)

第7条 会員は、次に掲げる場合には、本会を退会する。

- (1) 会員が退会を申し出たとき。
  - (2) 会員が死亡したとき。
  - (3) 正当な理由がなく前条に規定する会費を指定の期日までに納入しなかったとき。
- 2 前項第1号の規定により退会する場合には、会長に書面によりその旨を申し出なければならない。

(除名)

第8条 本会の名誉を著しく傷つけ、又は規約及び倫理に反する重大な行為のあった会員に対しては、役員会の協議を経て、本会から除名することができる。この場合において、当該会員に対して、事前に弁明の機会を与えなければならない。

### 第3章 組織

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 1名
  - (3) 事業部会の長 各1名
- 2 役員は、総会で会員の互選により選出する。
- 3 会長は、本会の会務を総理し、本会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 事業部会の長は、事業部会の会務を総理し、事業部会を代表する。
- 6 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 7 任期途中で役員に選任された者の任期は、前任者の残任期間とする。

(解任)

第10条 役員が、職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるときは、総会において、議決権の過半数による決議を経て解任することができる。

(辞任)

第11条 役員が、心身の故障等のため職務の執行に堪えないと認められるときは、会長に申し出ることにより、辞任することができる。

(監事)

第12条 本会に2名の監事を置く。

- 2 監事は役員会が指名し、総会の承認を得なければならない。
- 3 監事は、本会の会計を監査する。
- 4 監事の任期・解任・辞任は、役員の場合による。

(事業部会)

第13条 本会の事業運営に必要な事業部会を置き、設置に必要な事項は別に定める。

(事務局)

第14条 本会の事務局は、大牟田市内に置く。

## 第4章 会議

(総会)

第15条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

2 総会は、会員の過半数の出席により成立し、出席者の過半数により議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 総会の議長は、会議に出席した会員の中から会員の互選により選出する。

4 総会は、次の各号に掲げる事項を議決する。

(1) 事業計画に関する事項

(2) 予算及び決算に関する事項

(3) 前2号に掲げるほか、本会の運営に関する重要な事項

5 定期総会は、毎年1回開催する。

6 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

(1) 役員会が必要と認めたとき。

(2) 会員の総数の4分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって開催の請求があったとき。

7 やむを得ない理由により総会に出席できない会員は、予め通知された議案について書面を提出して表決するか、委任状を提出して他の会員に表決を委任することができる。この書面または委任状を提出した者は総会に出席したものとみなす。

(役員会)

第16条 役員会は、役員をもって構成する。

2 役員会は、次の各号に掲げる事項を協議する。

(1) 総会に提出する案件に関する事項

(2) 予算の更正または補正に関する事項

(3) 前2号に掲げるほか、本会の円滑な運営に資する事項

3 役員会は、必要に応じて、随時開催することができる。

## 第5章 会計

(経費)

第17条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年の3月31日までとする。

(決算)

第19条 本会の収支は、毎年度監事の監査を経て、総会の承認を得るものとする。

## 第6章 規約の変更及び委任

(規約の変更)

第20条 この規約を改正するときは、役員会の発議により、総会において議決しなければならない。

(委任)

第21条 この規約に定めるもののほか、本会の運営について必要な事項は、役員会の協議を経て、別に定める。

付則

- 1 この規約は、平成 11 年 12 月 21 日から施行する。
- 2 設立総会において選出された役員及び承認された監事の任期は、次の総会までとする。

付則

- 1 この規約は、平成 13 年 5 月 18 日から施行する。

付則

- 1 この規約は、平成 27 年 4 月 24 日から施行する。

付則

- 1 この規約は、平成 30 年 4 月 26 日から施行する。

## 大牟田市介護支援専門員連絡協議会組織図

